

令和元年度 第3回海老名市国民健康保険運営協議会 会議結果報告書

1 日 時

令和2年1月15日(水) 午後2時から午後3時まで

2 場 所

海老名市役所 3階 政策審議室

3 出席者

委員：8名 (田口委員、桐生委員、河野委員、高橋委員、鈴木委員、
前田委員、森島委員、牛村委員)

事務局：7名 (江成保健福祉部長(途中退席)、小松保健福祉部次長、
井上国保医療課長、藤本国民健康保険係長、
永田主事、小林)

4 傍聴者

1名

5 議事

資料1を用いて第2回運営協議会の開催後にいただいた質問に対して事務局から回答。

事務局が、欠席の委員から預かった意見書を読上げ。

海老名市国保制度の安定性、持続性を考えた場合、今回の税率見直し案についてはやむを得ないとする。税率見直しと合わせて国保財政の健全化に寄与する為、今後も後発医薬品使用促進のアプローチを継続して行っていただきたい。

【質疑】

委員 低所得者のことも考慮しており引上げはやむを得ない。

委員 県域化したので引上げは仕方ない。逆に上げ幅はこれだけで良いのか。

事務局 7年間上げてこなかったもので、一気に引上げを行ってしまうと被保険者に与える影響も大きくなってしまいます。昨年10月に消費税率等が引き上げられたことも考慮して今回の改正案としている。

委員 海老名市は平均を下回っているので何回かに分けて引き上げていくことになるが、被保険者はこれまで保険税が安くても運営できていたのにメリットがなくなると考えるのではないか。

事務局 これまでは国保の被保険者ではない市民が納めた税金を使って保険税を低く保ってきたが、県域化されたことを踏まえて見直していく必要がある。サービスを拡充していくことにより被保険者からの理解を得ていきたい。

委員 海老名市は中学生まで医療費が無料だが、他市では違うのか。

事務局 海老名市は中学生までの医療費無償化にいち早く取り組んできたが、他市が海老名市の水準に追いついてきた。

委員 神奈川県は全国的にみるとどのような位置付けなのか。

事務局 全国統一はない。都道府県レベルで統一を図っているところ。大阪府、奈良県が既に取り組んでいる。

委員 答申書のひな形（案）に追記することはあるか。異議がなければ挙手をお願いします。

～～全員挙手～～

委員 ひな形（案）のとおり答申書を作成する。軽微な修正があった場合には、会長、副会長に一任いただきたい。

事務局 第4回は2月に開催予定。

閉会